

Dance Drill Spring Festival 2020

Japan Dance Drill Championship

実施要項

1. **大会名称** Japan Dance Drill Championship / 全日本ダンスドリル選手権大会
2. **期 日** WEST 2020年3月7日(土)
EAST 2020年3月28日(土)
3. **会 場** WEST 丸善インテックアリーナ大阪
EAST 駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
4. **主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-5-20 押田ビル 3F
TEL : 03(3556)6080 FAX : 03(3556)6139
5. **大会参加費** 団体一部門毎、参加者一名につき 3,500 円。補欠も一名につき 3,500 円。
1 エントリーにつき 4 名以上(3 名以下でのエントリー不可)
6. **エントリーについて**
 - ① 複数部門へのエントリー
 - * 1 名につき 2 エントリーまで可。
 - * 複数部門に出場する場合は、重複関係がわかるようエントリーシートに記載すること。
 - ② エントリー受付
 - * エントリー総数に上限があります。エントリー申込は先着順となります。
(予定エントリー定数は WEB にてご確認ください)
 - * 団体情報登録シート及びエントリーシートの受付をもってエントリーとします。
 - * エントリー期間前の申込、また期間内であっても書類に不備があった場合エントリー受付致しません。
 - ③ エントリー方法およびエントリー期間
 - * ホームページ http://www.dancedrilljapan.com/spring_festival_2020/ からエントリーシートを取得し入力の上、下記メールアドレスへ送信してください。
WEST 申込 E-Mail 送付先 : west@dancedrilljapan.com
2020 年 1 月 27 日(月)12 時より 2 月 7 日(金)17 時まで
EAST 申込 E-Mail 送付先 : east@dancedrilljapan.com
2020 年 2 月 5 日(水)12 時より 2 月 10 日(月)17 時まで
 - * エントリー受付後、大会事務局より確認メールを送信します。順次確認メールを送信しますので、電話でのお問い合わせ・受付前の入金を行わないでください。
 - * 申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切ります。
 - ④ エントリーの注意事項
 - * エントリーシートに記入漏れ、不備があった場合は**無効**とします。

- * エントリーシートは Excel 形式のみ受付致します。Numbers・PDF 等その他のファイル形式では受付出来ません。
- * エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。
- * 同一内容のエントリーを複数人で行った場合、**無効**とします。
- * エントリー定数に達した際は、予告なく申込を締め切らせて頂く場合があります。
- * メール本文に団体名と担当者名を入れ、エントリーシートに不備がないかを確認の上メールを送信してください。
- * エントリー受理後の大会区分・出場日の変更は出来ません。

7. 実施部門及び編成

① 実施部門

POM 部門・HIPHOP 部門・JAZZ 部門・Dance Drill 部門

② 編成と出場資格

学校団体以外(学校名での出場不可、チーム名での出場は可)の全ての団体

編成	出場資格
Mini	出場選手全員が小学校 4 年生以下
Youth	出場選手全員が小学校 6 年生以下
Junior	出場選手全員が中学生以下
Senior	出場選手全員が高校生以下
Open	年齢による出場制限なし

- * 出場編成は年長者の出場選手に合わせる事
- * 参加数が多い部門は人数により Small 編成、Large 編成に分ける場合がある。

8. 演技時間 2分15秒以内

9. 表彰について

① 〈部門賞〉

各部門 1 位から 3 位を表彰する。

② 〈総合〉

部門全てを通じて最高得点団体をグランドプライズ(1位)として表彰する
WEST のみグランドプライズのチームには大阪府知事杯が贈られる

10. 演技フロア

- a) 演技フロアはおよそ 13mX13m。Dance Drill 部門のみ縦 15m×横 28m とする。
※ラインオーバーによる減点はなし。
会場の状況によって演技フロアのサイズを変更する場合がある。
- b) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に 1m ラインを引く。
- c) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- d) 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着し床に傷を付けない工夫をすること。

11. 音源について

- 音楽 CD 形式
- 編曲されている場合でも 1 曲として編集すること。
- 音源 CD は大会開催の一週間前までに下記住所宛に郵送すること。
- 盤面、ケースへチーム名、出場部門、エントリーNo.を記載すること。

別紙「大会使用音楽届け出書」に必要事項を入力の上、エントリーと同様のメールアドレスまで提出してください。

各種手続きの簡略化の為に、メール添付での提出にご協力ください。

- 出場に関しての留意事項

曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう、最大限の努力をすること。

日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉がないか必ず確認をすること。

12. 競技ルール

⑤ 審査のポイント

	テクニックの実施	グループでの実施	振付	全体の印象
	30 点	30 点	30 点	10 点
POM	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 POM モーションテクニックの質：正しい形、コントロール、正確さ、強さ、完成度。			
HIP HOP	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 本物のヒップホップ/ストリートダンススタイルの質。グルーブ感	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの実施 強さ、迫力、正しい形、コントロール、存在感を伴った動きの実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 同調性/音楽とのタイミング チームメンバーの同調性。音楽との同調性	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽性 音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルをいかしたクリエイティブでオリジナリティのある動き
JAZZ	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 動きの連続性。スタイル実施の質、引き上げ、押し出し/身のこなし。	<ul style="list-style-type: none"> ● テクニカルスキルの実施 正しい位置、身体のライン、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、完成度を伴った適切なスキルレベルの実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの均一性 全員の動きの均一性(クリーン、クリアー、正確)	<ul style="list-style-type: none"> ● フロアの使用/視覚的效果 スムーズな移動と様々なフォーメーションの利用。グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト、高さの変化、などを使用した視覚的インパクトのあるステージング。
Dance Drill	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 Dance Drill のスタイル (プロップ・ミリタリー・メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなどの正確な実施)		<ul style="list-style-type: none"> ● 位置間隔 パフォーマンスエリアにおける、ルーティン中、移動中における選手間の間隔の均一性	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの複雑性 テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さなどの動きの難度。正しいテクニカルの実施に基づくスキルの難度。

- 観客とのコミュニケーション
- 計画性
- 観客へのアピール
- 音楽・衣装・振付・メイクがダンサーの年齢に適正か

⑥ セーフティガイドライン(安全規定)

本協会では、安全に競技を行うために下記のセーフティガイドライン(安全規定)を設定する。

① POM 部門・JAZZ 部門・HIPHOP 部門

上記三部門は国際チア連盟(ICU)および日本スポーツチア&ダンス連盟(Cheer Japan)により規定されたルールに則って行います。

詳細は下記 Cheer Japan 主催ジャパンオープン大会ページより競技規則[パフォーマンスチア](DANCE)記載の“安全規定”をご参照ください。

<http://jfscheer.org/competitions/>

② Dance Drill 部門

A) ピアス、イヤリングは禁止。

B) ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止(ストールなどを含む)。(例外:前転・後転は認められる) 体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。

全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。

※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。

C) 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。

(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)

人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など) 人の上から飛び降りるのは禁止。

但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)

※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可。

D) その他、審判員が危険とみなした行為。

13. ペナルティ (全部門共通)

① エントリー資格を有さない者が出場した場合。(失格)

② エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合。(失格)

③ 演技時間の超過があった場合は以下の通り結果より減点する。(5~10秒超過は1点減点、11秒以上超過は3点減点)

④ 10項 c)の内容が守られなかった場合、ポイントでのペナルティが課せられることはないが、悪質な違反と見なされた場合には、失格となることがある。

⑤ 演技フロア保護の為の処置がされていなかった場合。(失格および修繕の為の実費請求)

⑥ 前項のセーフティガイドラインが定める禁止事項一人一回の実施につき結果より 5点減点する。

14. 大会に関するお問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-5-20 押田ビル 3F

TEL 03-3556-6080 FAX 03-3556-6139

ホームページ <http://www.dancedrilljapan.com/>

問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com